



あなたの活動が新聞に載る！  
伝えるコツを身につけようin逗子  
フレスリリースの  
はじめ方

広報のコツをマスターしたい方、ぜひご参加ください！参加者全員にオリジナルテキスト「伝えるコツ」(発行:電通+NPO 広報力向上委員会)を差し上げます！

講師：池田佳代氏

(OurPlanet-TV 理事、日本 NPO センター NPO 広報力向上委員会)

日時：11月20日(火) 13:00~17:00

(休館日ですが、正面玄関より入館できます)

場所：市民交流センター 第2・3会議室

参加費：無料

対象：市民活動団体、市民活動に関心のある方

定員：50人

申込み：11月19日(月)までに電話、ファクス、Eメールまたは直接市民協働課へ

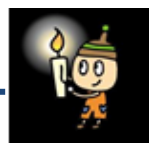
※託児(先着5人)、要約筆記、手話通訳希望者は11月7日(水)までにお申し込みください。

3・11 逗子 忘れない、つなげていく

## 「3・11応援・防災ひろば」

### 出展団体募集！

東日本大震災から1年7か月が経過し、今なお継続的に支援する取り組みが必要とされています。逗子でもいろいろな団体、個人が、さまざまな形で被災者支援を行っています。そこで、今回、支援活動を行っている市民団体が展示(活動紹介)、寄付募集、物品販売(被災者の方々による手作り品などの販売)を行うことのできる「ひろば」を開設します。



#### ●開設期間

2012年12月~2013年2月の毎月11日  
及び2013年3月9日(土)~11日(月)

#### ●場所

市民交流センター  
(展示スペース、フェスティバル・パーク)

#### ●募集团体…次のいずれか(又は複数)を行う団体

- ①展示PR
- ②寄付募集
- ③物品販売

※詳細は「広報ずし」11月号をご覧ください。

# 11月 フールセンター カレンダー

※開館時間は、9時~21時です。

日	曜日	プール専用使用コース		交流センター
		10~12時	13~15時	会議室関連
1	木		2コース	12月分先着予約開始
2	金			
3	土		2コース	
4	日			
5	月		2コース	
6	火	休館日		1月分抽選申込受付期間
7	水	2コース		
8	木		2コース	
9	金			
10	土		2コース	
11	日			
12	月		2コース	
13	火		2コース	
14	水	2コース		
15	木		2コース	
16	金			
17	土		2コース	
18	日			
19	月		2コース	
20	火	休館日		
21	水	2コース		1月分抽選結果発表
22	木		2コース	当選確定手続期間
23	金			
24	土		2コース	
25	日			
26	月		2コース(～15:40)	
27	火		2コース	
28	水	2コース		
29	木		2コース	
30	金			
12/1	土		2コース	1月分先着予約開始
2	日	換水清掃のため終日入場不可		
3	月	換水清掃のため終日入場不可		
4	火	休館日		
5	水	換水清掃のため終日入場不可		

- ・専用使用がある時間帯は3コースのみの使用となります。
- ・小学校3年生以下は、保護者などの付添が必要です。(付添1人につき2人まで)



## 日本を見つめ直した協力隊経験

東日本大震災があった3月11日の夜、なんとか帰宅した自宅で停電の中、キャンプ用のランプで食事をしました。その時、ふと20数年前にスリランカでもたびたびランプで生活したことを思い出しました。

私は青年海外協力隊の一員としてインド洋に浮かぶスリランカに1988年から2年間派遣され、現地の教員養成大学で体育を指導しました。スリランカでの生活は驚きの連続でした。ブーゲンビリアの盆栽を作りたいから教えてくれと頼まれましたが、盆栽の基礎的な知識が全くなく、ブーゲンビリアとなるとイメージさえ浮かんできませんでした。またあるとき空手を教えてくれと言われ、困りました。日本人は皆できるものと思っているようです。



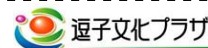
1989.11 ニルワラ大学で

外国の人は日本人とは違った感覚で日本の文化や伝統を見たり感じたりしますから、思いもよらない発想をします。私自身もっと日本の文化や伝統について理解しなければいけないとつくづく思いました。

現在中学校の教師として生徒たちと接して感じることは、世界の中で他国と対等につきあえる日本人を育てる必要性です。日本の教育には国際社会で生きていくための教育が不足していると思います。生徒たちには折に触れて、スリランカでは水道の水が直接飲めない話や一年中熱い気候での生活ぶりなどの話をよくします。自分にできることは、少しでも協力隊での体験を伝え、外国のことや協力隊のことについて興味を持ってもらうことだと考えます。



逗子市立 沼間中学校 久保木 勝



## 市民交流センター

〒249-0006 神奈川県逗子市逗子 4-2-11

TEL 046-872-3001

FAX 046-872-3003

kouryu@city.zushi.kanagawa.jp



「ちょっと不便」で、まちが元気に!?  
ネパール人のJさんと、銀座通りのお店で食事をした時のこと。商店街の活性化の話になりました。

「駅前にバス停があって、電車を降りた人がすぐバスに乗って町の外に出てしまう。駅からバス停まで商店街を歩いて行くようにすればいいのに。日本は、駅前の開発が下手だと思います」とJさん。なるほど。商店街を歩く人が増えれば、当然、店の売り上げは増えるはずだ。



電車を降りてすぐにバスに乗れたら、確かに楽で便利ですが、バス停をあえて商店街の先に移し、お年寄りや、小さな子どもをつれた人のために、無料の人カタクシーを走らせる。駅前には大きなイベント広場にして、毎日、音楽やアートのイベントが楽しめる。そんな駅前開発があってもいいのかもしれない。日本の駅前開発は、大きな「駅ビル」を作って、そこで何でも済ませられるようにすることが多いですが、それでは、駅ビルに入る大企業だけが儲かって、地元の商店のお客は減ってしまいます。

「楽で便利」な生活を追い求めて、気が付かないうちに、人と人のふれあいやつながりが失われていくのは、ハード面でのまちづくりでも同じなのかもしれません。去年から始まった「節電」は、日本人が初めて、「楽で便利」を追い求めることをやめた画期的な出来事でした。「ちょっと不便だけど、わるくない」というライフスタイルを受け入れる気持ちの余裕が必要なのかもしれませんね。

きのしたよしひと 市民協働コーディネーター 木下理仁

## ボランティアセンター便

ボランティアセンターでは、ボランティア活動登録者を受け付けています。登録の際には活動したい内容や趣味・特技等を伺い、ご希望に合った活動の場をご紹介します。「人と話すのが好き!」「力仕事・庭仕事なら任せて!」「裁縫が大好き!」「歌を楽しみたい!」などの様々な趣味・特技を是非生かしていただきたいと思ひます。

ボランティアセンターにはいろいろな活動をしているグループが登録していますので、ご自分にあったグループ探しのお手伝いをさせていただきます。また、グループ活動だけでなく個人活動もコーディネーターカウンターに足をお運びください。

たくさんの方から「ボランティアをして良かった」「ボランティアを頼んで良かった」という声が聞こえると私たちボランティアセンター職員もとても嬉しいです。



開設日・時間:月曜日~金曜日 9時~17時  
(交流センター休館日・祝日は除く)

連絡先: 電話 046-873-8037

FAX 046-872-2519

Eメール vc@zushi-shakyo.com





# アンケート 報告

## 印刷・作業コーナー

Q: 明るく良いお部屋でした。予約ができるとなお良いと思います。

A: 現在は予約制の予定はございません。ご利用者様同士譲り合ってお使いいただければと思います。

## 駐輪場

Q: 駐輪場について、駐輪禁止の場所に多数の人が駐輪している。違反者から罰金をとるか、ステッカーを貼るとかして欲しい。

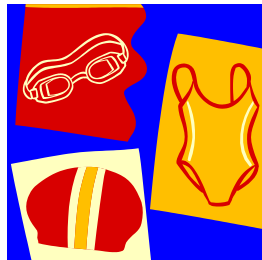
A: 駐輪場のマナーについては定期的にパトロールするなどしているのですが、ルール違反者が絶えません。子ども達も多く危険なので、皆様のご協力をお願いいたします。



# お忘れ物に注意!



あきらめないで!



センターでは、月末に忘れ物、落し物を整理しています。プール用品、傘などは特に多いので、心当たりのある方は、一度窓口にお越しください。

# 新人紹介



橋田節子です。よろしくお願ひします! 趣味はバイクです♪

10月より、非常勤事務嘱託員として、勤務しております。

逗子に移り住んで、17年ほどたちます。逗子といえば海! でしょうと意気込んできましたが、未だに「かなづち」です。

交流センターに早く慣れて、皆様に快適にご利用いただけるよう、サポートしたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

# JICA活動体験者です!

JICA: 独立行政法人国際協力機構



社会教育課 川嶋名津子

## 2004年4月から

2006年4月まで、中米のニカラグアという国で活動していました。職種は環境教育、小学校で畑を作ったり、植林をしたり、リサイクルの工作教室などを行いました。環境絵画のコンクールや、バスの停留所で行った「ゴミのポイ捨て防止キャンペーン」など学校内にとどまらず地

域の協力を得て行った活動がとても印象に残っています。

逗子市の職員として、活動中の2年間、「外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例」に基づき、派遣していただきました。派遣にあたり多くの方に大変お世話になりました。

公務員の仕事は地域の中で現地の人とともに活動する青年海外協力隊と多くの共通点があると感じています。今後もあのときの思いを忘れずに自分の生き方だけでなく仕事にも役立てたいと思います。



事前学習の様子(ゴミのポイ捨てを防止する紙芝居を作成中)



小学校の子どもたちがバスの停留所で、ゴミのポイ捨てをしないよう呼び掛け



ゴミのポイ捨て防止キャンペーンの様子(市役所の環境部職員、環境団体の担当者と...左端が川嶋さん)



総務課 斎藤 好男

## もう20数年も前のことですが、

私は青年海外協力隊として東南アジアのタイ王国へ派遣されました。同国最北端に位置するチェンライ県の教員養成大学のコンピュータ学科に配属され現地ではプログラム言語の指導や教材作りを行いました。(写真①②)

チェンライ県を含むタイ北部には、山岳民族と言われる少数民族の村がたくさんあり、民族衣装を身にまとって伝統を守りながら生活しています。(写真③)

街にでると市場があり、屋台がたくさん並んでいます。

タイ王国の人々にとって唐辛子は必需品です。何種類もの唐辛子が山盛りになって量り売りしています。(写真④) 日本では目にしないものもたくさんあり、びっくりしますが楽しい市場です。

2年間の活動を終え日本に帰国すると、年号は平成に変わっていました。物を購入すると消費税3%が課税されるなど、日本国内が大きく変化していて、浦島太郎になった気分でした。

私にとって青年海外協力隊での体験は、異文化に触れる貴重な体験であったと思います。

最後にタイ王国にまつわるクイズをひとつ。

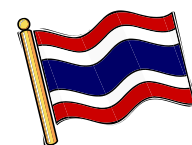
首都バンコクの中心部を流れるチャオプラヤー川(昨年大洪水が発生し大きな被害をもたらした川です。)は、ひと昔前の地図にはメナム川と記載されていました。このメナムの意味は何でしょう?

1:水、2:川、3:広大

## ขอขอบคุณ ครับ

(ありがとうございました。)

答えは、「川」です。理由は「メナム川」で検索してみてください。



①



②



③



④

# 第2回 市民活動のススメ講座 報告



9月20日(木)に開催した、「好感度&注目度120%の話し方」講座には、31名が参加。わかりやすく、参考になったと好評でした。



## アンケートから...

- ・まずは、自分を知ることが大事だと思いました。鏡を見て笑顔をチェックしたり、話し方のスピードや姿勢等、自分で見てみようと思いました。今日のお話は大変参考になりました。
- ・続編(part2)をいつの日にかお願いいたします。
- ・つかみやリズム、間、そしてその練習が大事というのを再確認しました。いつもその場の雰囲気話しているの、準備って大事ですね。

次回の講座は「プレスリリースのはじめ方」です!

ちょっと気になる...ココ! ここでは、市民の方からのいろいろな情報を提供していきます!

## 熊野神社 (山の根)



JR 逗子駅近く、山の根の熊野神社、住宅街に隣接しているのに樹木に覆われた境内。とても静かで、鳥のさえずりものどか。社殿の裏の斜面には横穴古墳も保存されている。歴史を感じさせる本殿を囲むように緑いっぱいの遊歩道が。駅前の喧騒を忘れさせる空間です。(桜山 長嶋)

逗子市山の根2-4-1 JR 逗子駅西口から徒歩10分